

# Walden Pond Times

MARCH 2014 Vol.21

# バイオマスエネルギーの新たな活用法 ～薪ファーネス、薪ボイラー～

記録的大雪に見舞われ、交通障害などが各地で発生したこの冬。また自然の恐ろしさを体感した冬でした。さて、昨年は木材利用ポイント事業が林野庁で始まり、日本の木材利用にも新たに一步が踏み出された年でした。

薪で暖房をとる、ということは、国内の森林を間伐によつて整備できるだけでもなく、二酸化炭素の削減にも役立ち、皆さまは大いに環境保護に貢献されていることになります。

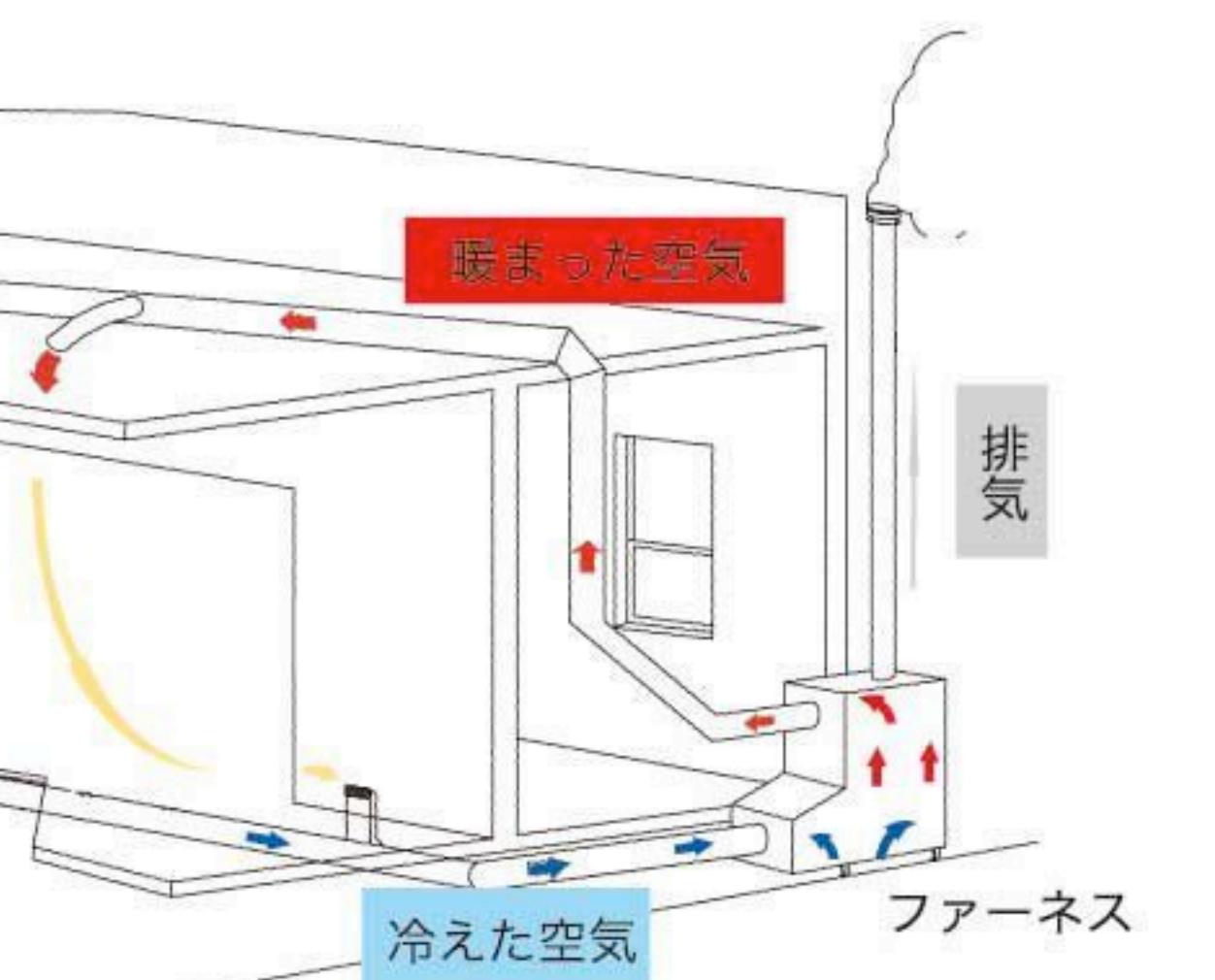
しかしより多くの木材の利用を目指すため、新たな活用法として熱い視線が注がれているのが、「薪ファーム」です。

力ナダの薪ファーネス、「ツンドラ」。手前2本が送風ダクト、後方が排気のための煙突。

もともと北米やヨーロッパでは、暖房は灯油やガスによる全館暖房ですが、その流れの中で再生可能エネルギーである木材を燃料とした全館暖房用ファーネスが、一つの選択肢として開発されました。

地下室や屋外にファーネスを設置し、そこからダクトで暖かい空気を各部屋へ送風します。私たちが視察をしてきたのはカナダ、ドイツのメーカーです。両国とも国内に大きなファーネスのメーカーがいくつもあり、商品として注目されていることがわかります。

カナダでは、かつて豊富な森林資源を活かした紙パルプや木材加工業が盛んで、その木材加工品の生産の副産物として発生するおがくずや木つ端の使い道として、薪ストーブやペレットストーブ、ファーネスが利用されていました。



なっていました。しかし二〇一一年、メルケル政権が脱原発政策に転じ、再生可能エネルギーの開発に力を入れるようになりました。特筆すべきは、ドイツの新築住宅では暖房・給湯の一部をバイオマスや太陽光などの再生可能エネルギーでカバーすることを法律で義務づけられているという点です。これにより、風力発電や太陽光発電とともに、木材の利用の促進のため、薪ストーブやファーネスの利用が伸び、各メーカーも競つて高性能な機器を開発しています。

では、日本はどうでしょうか。北米やヨーロッパと比較すると、木質燃料の利用に関して大幅に遅れをとっていると言えます。また、森林一ヘクタールあたりの木材生産量は0.69立米。対するドイツは5.36立米と、同じ間伐が必要な人工林であるにもかかわらず、これ



入も検討しています。薪で水や不凍液をあたため、床暖房などに利用する機器です。現在、弊社の女性トイレに実験的に導入しており、冬場でも暖かくて気持ちがよいと評判は上々。実際に導入が始まられるよう、実験を重ねて行きたいと考えています。

石油はあと五〇年で枯渇するとも言われています。私たちは身近な一次エネルギー燃料である薪を、もつと有効に利用していく方法をご提案していきたいと思います。

**ウリボーキャラクター**

ウリボー：「この前、家の裏山でシカを見たよ。何頭か一緒にいたので家族かな？」

イノシシ小学校の担任。環境や薪のこと詳しい。

ウリボーの尊敬するやさしい先生。

まき先生：ううん・・・そう簡単には言えないんだ。シカが増えすぎてしまって、山の木を食い荒らしたりして問題になっているしね。

ウリボー：あんなにかわいいのに・・・。

まき先生：動物園にいる動物と、野生の動物は違うんだよ。

ウリボー：なぜ、シカが増えているんだろう？

まき先生：自然の世界は、食う、食われるという「食物連鎖」

ウリボー：シカが増えるつてことは、自然が豊かになつているんだよね？

まき先生：ううん・・・そう簡単には言えないんだ。シカが増えすぎてしまって、山の木を食い荒らしたりして問題になっているしね。

ウリボー：シカを食べる動物？ クマかな？

まき先生：クマは主にどんぐりなどを食べるので、シカを食べたりしないよ。日本オオカミは、シカを襲つたりしたので、シカの敵だつただけど、絶滅してしまつたんだ。だけど、シカを食べる動物は他にもいるんだ。

ウリボー：シカを撃つなんてかわいそうだけど、山のために必要なことなんだね。

まき先生：そうだね。自然をバランス良く保つのは大切だけど難しいことなんだね。最近、シカなどのお肉を提供するお店も増えてきたよ。ジビエ料理と呼ばれるているよ。

ウリボー：増えすぎたシカを食べよう！ってわけだね。

まき先生：そう。自然の恵みを無駄なくいただくことも大切だ

**環境教室**

～自然は「食う・食われる」の世界です～

**まき先生**

イノシシ小学校3年生。環境、自然に興味あり。趣味は無駄な電気を消して回ること。

**ウリボー**

ウリボー：今でも獵師さんつて関係があつて、微妙なバランスを保つていてるんだ。シカを食ったので家族かな？

シカが増えた原因の一つだと思ふる動物が少なくなつたのが、シカが増えすぎているので、長野県などでは獵師さんを増やしていこうよ。

ウリボー：今でも獵師さんつて関係があつて、微妙なバランスを保つていてるんだ。シカを食ったので家族かな？

まき先生：そう。獵師さんも数が減つていて、絶滅危惧種。でも、シカなど山の動物が増えすぎているので、長野県などでは獵師さんを増やしていこうとしているんだ。

ウリボー：シカを撃つなんてかわいそうだけど、山のために必要なことなんだね。

まき先生：そうだね。自然をバランス良く保つのは大切だけど難しいことなんだね。最近、シカなどのお肉を提供するお店も増えてきたよ。ジビエ料理と呼ばれるているよ。

ウリボー：増えすぎたシカを食べよう！ってわけだね。

まき先生：そう。自然の恵みを無駄なくいただくことも大切だ



# Information

●2014年度メンテナンス・薪プログラム決定！！

メンテナンスキャンペーン受付も開始いたします。

詳しくは別紙チラシをご覧ください。

Digitized by srujanika@gmail.com



- DLD 業務の一部を (株) エープラスへ移管いたしました。  
今まで DLD が行っていた、商品企画・輸入卸・広域物流・オーナーズクラブの運営を、(株) エープラスへ業務を移管いたしました。  
販売・メンテナンスなどアフターサービスにつきましては、今までと変わらず (株) 木ごこち、(株) ディーエルディーが行って参ります。  
これを機により一層地域に密着したサービスを心がけて参りますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう何卒宜しくお願ひ申し上げます。

# A plus Network

A map of Japan with red dots marking the locations of the 100 Best Japanese Restaurants. The cities labeled are: Asahikawa, Ichinoseki, Morioka, Miyako, Sendai, Koriyama, Tokyo, Niigata, Hokuto, Nagano, Ise, Nagoya, Susayama, Hiroshima, Iwakuni, Marugame, Iya, Matsuyama, Oita.

A Plus Inc. 株式会社エープラス

The Best Products with The Best Service

株式会社ディーエルディー

伊那 東京 名古屋 仙台 郡山 長野 八ヶ岳 www.dld.co.jp

株式会社木ごこち

□盛岡 □宮古 □一関 [www.green-s-kigokochi.com/](http://www.green-s-kigokochi.com/)

今近づき一面を厚く覆つてし  
た雪も天気の良い日が増えるにつれて薄くなり、少しづつ大地  
が見え始めます。

ソチオリンピックでは惜しく  
もメダルを逃してしまいました  
が、スキージャンプ界のアイド  
ル、高梨沙羅選手の地元、上川  
町にある「旭ヶ丘・大雪森のガーデン」では、ワムの「30/65」と  
いう埋め込み型のストーブが設置され、スタッフや訪れた観光客を優しい炎で暖め続けています。

上川町は北海道最高峰の「旭岳」をのぞむ美しい風景から、映画「許されざる者」のロケが行われた場所でもあります。

ワムを販売したのは道北の旭川市で薪ストーブの販売施工を始めて約1年の「渡瀬建材」。

改装オープンの新ショールーム「PS.W」。ワムの Monet H が設置されています。



↑ 北海道最高峰の旭岳。



# *Dealer Report* 渡瀨建材

# 北海道旭川市



〒070-8002  
北海道旭川市神楽2条8丁目1番1号  
TEL 0166-85-7297  
<http://www.watasekenzai.jp/>

この度 P.S.W (ピーエス・ポイン  
トダブリュ)としてショールー  
ムを開設しました。

今まで地元の建材店として  
事業を行ってきたチャンネル  
を活かし、薪ストーブや暖炉  
と、自然素材の塗り壁材を主  
軸としたビジネスに方向転換  
をしたのです。

四〇代前半の渡瀬社長は、  
抜群のバイタリティーの持つ  
主。少年時代から続いている  
野球によつて培われたフット  
ワークで、北の大地を走り回  
ります。

北海道には数えきれないほ  
ど美しい場所や美味しいもの  
があります。これから色とり  
どりの北海道が楽しみです。

三月にホテルはその場所に再建、リニューアルオープンしました。



はまなす海洋館ホームページ <http://www.kaiyoukan.com/>



# オーナー探訪

# す海洋館

わしたり、ゆっくりとくつろいだりする格好の場所になつており、お客様にもご満足いただいているようです。でも一番喜んでいるのは実は社長さんご自身なのだと。ご自宅は現在も仮設住宅ですが、「新築時には必ず薪ストーブを設置するよ!」と元気な笑顔でおっしゃつてくださいました。

全室オーシャンビューでの客室での宿泊はもちろん、三陸の新鮮魚介や自家菜園の野菜を使つた自慢のお料理、また美しい海を背にデッキで素敵なウェディングパーティもできるはまなす海洋館。

あの日から三度目の春を迎える大谷海岸に、美しい海と自然が戻りつつあります。ぜひ皆さま、訪れてみて下さい。

二〇一〇年より、「食べる」というとても幸せで大切なことをフランスの鋳物鍋「ストウブ」を通して皆さんにお伝えしたい、という思いで発行してきた「ストウブ手帖」。

私たちには、この「食べる」ということをより楽しんでいただくためのご提案として、「薪ストーブ」「BBOグリル」それから「ストウブ」を使ったレシピ集を発行することにいたしました。

季節の旬の食材を最大限に活かしたお料理の企画は、このウォールデン・pondタイムスでもご紹介させていただいたノツツハウスの大森まゆみさん。長年著名な

料理家の書籍の企画監修や  
レストランのプロデュース、  
ケータリング業などを手が  
けてこられた方です。

新しいツール&クッキン  
グカードは、薪ストーブや  
BBQツールを使つた、四  
季のお料理を、美しい写真  
とレシピでご紹介いたします。  
春、夏、秋、冬と季刊で  
発行。レシピはポストカード  
サイズなので、ファイリ  
ングなどにも便利です。  
是非皆さまのライフスタ  
イルのプラスアルファに、  
このツール&クッキング  
カードをお役立てください。

ドイツ・ベルリンの旅  
（ベルリンの壁とモダニズム建築）

今回の出張レポートはドイツの首都ベルリンです。

二月一三日から二三日まで、ドイツのストーブメーカー訪問と北イタリアベローナで開催されたバイオエネルギー関連の展示会を見るため一〇日間の出張に行つきました。

ドイツでの滞在中、予定していた会社訪問がキャンセルになりました、二日間フリーな時間ができため、ヨーロッパでの心強い

旅の友、着火材メーカー「ワンドーブリツツ」の社長ウヴェとともに、急きよドイツの首都ベルリンへ観光へ行くことになりました。いつかはベルリンへ行つてみたいとかねがね思つていたのですが、なかなかチャンスがなく、これは良い機会だと即決で電車とホテルの予約をしました。

ワンドーブリツツ本社のあるフランクフルト郊外のアルスフェルトからは、ローカル線一時間と高速特急四時間。計五時間ほどの長旅でしたが、美しいドイツの風景を見たり、最近日



歴史的建築とモダン建築が渾然としている街、ベルリン

本には無くなってしまった食堂で朝食を楽しんだりしていると、あつという間に時間が過ぎ、気がつくと首都ベルリンの中央駅へ到着していました。



ベルリン中央駅。白い電車がドイツ高速鉄道「ICE」

かねてからベルリンに来たかつた理由の一つ目はベルリンの壁です。幼少時代、子供ながらに暗いイメージを持つていたのがベトナム戦争と東西ベルリンですが、一九八九年、東西冷戦の終焉とともに、四〇年間の東西分裂の歴史に幕を閉じたベルリンの壁崩壊の印象は、二五人が過ぎた今でも強烈な記憶として残っています。当時の重く暗いイメージを私の中で払拭させるためにも、ぜひベルリンを訪問したかつたのです。

壁の残骸は既に観光名物となり、街の至る所に顔を見せていました。しかし明るい街に何となくそこだけグレーがかつた空気が流れているように見えたのは私だけでしょうか？

同行したウヴェの叔母さんは、ちょうど東ベルリンにある親戚に会いに行っていたときによ

東西ベルリンの分断に遭遇。その後数十年も家族に会えなかつたという悲しい過去があるそうです。ドイツ人である彼らはもつと複雑な気持ちを抱きながらベルリンの壁を眺めているのだと思いました。ベルリンの歴史に思いを馳せながら、壁の残骸を見る事ができたのはとても良い経験でした。

二つ目の理由はモダニズム建築です。ドイツのモダニズム建築は、一九〇〇年代初頭に産声を上げ、バウハウスが設立されるなど隆盛を誇りました。そのシンプルで規則的なデザインは多くの人を惹きつけています。私もそのうちの一人。その中心都市であつたベルリンで体感してみたいと思つていました。

二日間という限られた時間のなかでしたが、少しその街並をみることができました。第二次世界大戦時、空襲で破壊を免れた歴史的建造物の中に様々なモダニズム建築が立つてているという独特なベルリンの街並。



現在は観光名所となっている「チェックポイント・チャーリー」と呼ばれる検問所跡。旧東ベルリン側をアメリカ兵、西側をソ連兵の写真が見張る格好となっているそう。

意外にも違和感がなく、しつかりきていくよに感じられました。また近いよに来て再訪し、じいど思います。さて肝心の結果、今春商事の新ら日本初上陸デビュードラスコがことになります。ご報告いたします。どうぞおしみに！



ドイツモダニズム建築を代表する建築家、ミース・ファン・デル・ローエ設計の  
Neue Nationalgalerie（新ナショナルギャラリー）

